



教育後援会会長
松山悦子

東工大附属工高教育後援会 発足にあたって

それは二千年の八月。橋川先生から電話を頂いて、文部省の方針が変わり従来のPTA事業の一部資金が運用出来なくなり、その部分を補充する組織、後援会を発足しないと従来の学校運営が出来なくなるという一大事の内容でした。娘が入学し同時にPTA役員、書記、広報委員、広報委員長と、充実した三年間で素敵な仲間に出会えて、皆と離れがたく弟燕同好会を作り、弟燕祭のPTA展示会へ出品する作品を作ること九年、学校には大変お世話になっていきますので、微力な私達でもお役に立てればと思ひ会長他役員を、引き受けさせて頂きました。そして青木副校長先生を中心に何度も学校に集まり、会議を積み重ねて九月十六日の総会の下準備をしました。内

情を飲み込めた私も引き受けた以上は、出来る限りの協力をしなれば…でも何から始めたら良いのか？事務費も通信費も無くて一体何をしたら良いのか？とにかく『0からの出発』なので、思い付く事は皆様方に協力して頂くバザーでした。でも十月の弟燕祭まで一ヶ月無いので、青木先生に「無理」と断られるのを覚悟で相談してみましたら、すぐ行動に移って下さいました。先生方を先頭に五十名の皆様が品物を寄付して下さいましたお陰で十二万円という売り上げがありました。この紙面をお借りしまして御協力して頂いた皆様に、心から感謝し御礼申し上げます。

奨学寄付金として頂いています寄付金は、一旦全て国の機関に納入してから、学校が生徒達の為に使う教育活動の費用を請求し数ヶ月後に委任経理金として使用出来るのです。一般の寄付金とは違い生徒達に掛かる費用ですから目標額に到達しないと学校は運営出来なくなってしまうので、会員皆様方の御協力を、何卒宜しくお願い申し上げます。



平成12年10月

教育後援会だより 第1号

東工大附属工高教育後援会
会長 松山悦子

教育後援会の発足のお知らせ

東工大附属工業高校の弟燕祭においでくださり有り難うございます。すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、このたび東工大附属工高に教育後援会が発足いたしました。この後援会は、保護者、元PTA会員、元教員、および関係者のご協力を得て、PTAとは異なる特徴を持つ組織として、平成12年9月16日に設立いたしました。従来のPTA事業の一部が運用できなくなったものを補完する組織です。

この教育後援会は、生徒の学習や教員の研究を助成したり、クラブ活動や生徒会活動を援助するばかりでなく、施設・設備を改善したり、学校運営の補助に寄与し、その他今回のバザーのように教育活動を補助する事業も行います。

この教育後援会は、現職の教員を含まない任意の組織で、会の趣旨に賛同されるかたは、卒業生や一般の方を含め誰でも会員になれますし、任意の寄付もお受けいたします。

私たちは、東工大附属工高が今までどおりの学校運営ができるように支援活動をいたしたいと思っています。この会の規約を用意しましたので、ご一読されご支援していただきたく思います。

校費外学校運営費の流れ

P T A

現保護者・現職教員

学級通信連絡費
会議費
印刷費（弟燕だより・P T A名簿等）
慶弔費
事務謝金
交通費
渉外費
雑費
その他

教育後援会

現P T A・元P T A会員保護者・卒業生・
元教員

生徒の学習・教育研修・教育研究開発補助費
旅費補助費（修学旅行・スキー教室・合宿・
課外授業・研究会参加費・その他）
資料費用の補助
部活動・同好会活動補助費（楽器・ボール・
その他 備品・消耗品購入の援助）
生徒用備品購入の援助
学校行事等の援助
健康診断医師・増員分の謝金・その他
厚生費（医薬品・その他）
補修等に使用する備品・図書・その他
その他 校費で支払えない費用の援助

本校の場合は、国からの費用で学校の運営を賄うのが本来の姿ですが、
現在、校費だけで運営することは不可能ですから、教育後援会は学校運営の補助と
いう教育活動と環境整備に、支援している機関なのです。

本校は一般の寄附金とは全く違い、生徒達に **掛かる費用** として使用致しますから、
奨学寄附金が、目標額に到達しませんと学校の運営ができなくなります。
皆様の御協力を何卒宜しくお願い致します。